

表 原子力発電情報公開ライブラリー「国内火災事例」データベース 2009年7月版
独立行政法人原子力安全基盤機構企画部技術情報統括室、
1999年1月19日から2009年6月8日

表としては不完全です。青字は機械屋、紫字は建築とのミスマッチ、のつもり

発生日時 事故の概要 ()は対策

- 1999.1.19 設備の連動シーケンスの設計ミス (空気予熱器を新品に交換)
5.21 排気系が停止されているのに排気が必要な設備を運転 (運転手順の周知)
9.20 設備のコンデンサ不良 (インバータ装置を新品に)
- 2000.2.24 メーカーが型式変更時に電磁接触器の動作完了に必要な時間を設計に反映し
なかった。 (タイマーを回路上に追加)
- 2001.3.6 トランス絶縁紙の欠損で制御トランスが過熱 (盤一式を取替)
2001.7.4 シャッター操作用スイッチの接点が結露。(漏電遮断器の設置)
- 2001.11.7 余熱除去系蒸気凝縮系配管の破断
- 2002.6.19 サブドレンポンプ制御盤からの発火 (制御盤内の変圧器を健全なものに)
- 2002.12.12 高圧タービン軸受部等からの油漏出
- 2003.12.2 抵抗器の経年劣化で電源盤からの発煙 (当該遮断機の修理)
- 2004.2.21 建築とのミスマッチ (冷却用水素の排出口近くに可燃材)
- 2004.4.5 無停電電源装置のコンデンサ不良で発火 (日常点検 (1回/年) を追加)
- 2004.7.27 高温の廃棄物を通るダクトのつなぎ部が綿帆布で出火 (材料の変更)
- 2004.8.6 構内事務所近傍の配電線で、外資部分の絶縁抵抗が低下し、出火
- 2004.8.9 A系復水配管の破損により、蒸気が噴出。熱傷で5名死亡。
- 2004.8.9 作業後の軍手に浸み込んだ油類の自然発火 (洗濯物を保管する場合は、多
量に重ねない)
- 2004.9.15 作業用分電盤の端子部の緩みにより、発煙
- 2004.11.15 炉内の放射線分解により発生した水素と酸素を含む蒸気が移動して、スイ
ッチ部分で爆轟、フロート部分を損傷していたことを定期点検で見。
- 2005.6.30 不燃性廃棄物の溶融処理物を自動運搬するキャニスタが転倒し、火災が発生
- 2005.8.4 電源装置内の制御用変圧器の過熱による発火 (計画的な点検)
- 2005.10.20
- 2005.10.24 この2件。火報の不具合としているが、排ガスへの反応、制御用基板の不
良が原因で気にはなる。
この他にも、漏洩した蒸気に反応したので感知器の位置を変えるなど、問
題のある事例がある。
- 2006.3.22 廃棄物処理建屋内の基材整理棚から出火し、建屋全体に影響 原因不明

「周辺への煙の広がりに伴い、防火扉が動作していることが判明」

- 2006.7.16 所内ボイラーの煙道ダンパーが誤って、閉じていたため、室内に煙が漏れた。
- 2006.8.31 消火栓発信機の内部配線が扉に挟まり損傷→漏電
- 2007.1.12 構内への落雷の影響で、取水設備電源盤に雷サージ、部品の一部が短絡
- 2007.3.22 定期検査で、油タンクを温める際、過熱保護用のサーマルスイッチをバイパスしていたことによる過熱発火。**2004年ごろから試験方法として定着。**
- 2007.6.3 定期検査中、仮設の電源ケーブルと電工ドラムつなぎ部の接続不良で発煙。
- 2007.6.6 パッケージエアコン基盤部の接触不良による発煙
- 2007.6.25 定期検査の非常用ディーゼル発電機の手動起動試験で発煙。必要な機能を有していないと判断。「75リンク」が逆向きに組み立てられていた。
- 2007.7.16 新潟県中越沖地震による、変圧器と周囲基礎面の沈下量の差で地絡。遮断器が働いたが、慣性でしばらくの間、電力が供給されアーク放電。
もう一件。複合建屋地下5階で消火系配管からの漏水。浸水深さ:48 cm。
その他、4施設で、消火配管の破断。
- 2007.7.29 煙感知器の発報に対して、現場確認した警備員が警報発生場所を正確に認識しておらず、非火災報として報告。50分後に、発煙場所を特定。
- 2007.8.6 壁コンセント（容量1Aの変圧器に接続）に電動ドリルを接続したことによる変圧器からの発煙。コンセントの容量表示は15Aだったので、作業員は13アンペア迄の工具を接続。
- 2007.9.20 定期検査中、仮設クレーラの電源ケーブルコネクター部のはんだ付け不十分による過熱焼損
- 2007.11.28 空調機加湿器の給水弁を閉めたまま、空調機を運転し、加湿器の過熱防止装置が故障していたため、過熱発煙
- 2008.1.9 通常運転中。既設壁の鉄筋除去作業中、グラインダーの火の粉でビニールシートが焦げた。
- 2008.1.31 定期検査中。原子炉保護系（A）の電源喪失が発生し、幾つかの弁が閉鎖したところ、約2時間後の電源復旧に際し、手順書に不備があり、ポンプのモーターより発煙
- 2008.2.12 錆の発生で潤滑油が補給されない状態で、海水淡水化装置の生産水ポンプ軸受けから発煙
- 2008.2.25 定期点検中。主変圧器冷却ファンの機能試験で、電磁接触器引き外しコイルが焼損。
- 2008.5.7 運転中。非常用ディーゼル発電機の定例試験で、前回点検時のナット締め付け不足により、燃焼ガスが漏出。
- 2008.6.15 定期検査中。非常用ディーゼル発電機の試運転で、AVR盤から発煙、かつ自動停止した。受注者が作成し事業者が確認した試運転手順書に不備。

- 2008.7.22 定期検査中。放射線監視設備用電源のトランスの放熱面積が不十分で発煙。
- 2008.8.14 通常運転中。火災感知器中継器の異常。
- 2008.10.10 増強廃棄物処理建屋で熔融炉キャニスタから発煙
キャニスタの置かれた冷却室について「冷却室内部には耐火処理が施されており、床はエポキシ塗装の上に耐火材が敷き詰めてある」に違和感
- 2008.11.20 落雷により、2回線で送電中の1, 2号機が原子炉自動停止。3号機が系統単独運転へ移行。この移行の際、排気側の湯気に火災報知機が作動。
- 2009.2.13 避難誘導灯内部からの異臭および少量の発煙を発見。
「今後、原因について調査する」の記述。
- 2009.4.8 照明に電気を送る分電盤から発煙。今後、原因について詳細に調査する。
- 2009.4.11 予備品倉庫内空調機のモーターから発煙。モーターへの電源は自動的に遮断
- 2009.5.20 屋外照明灯のセンサー部から発煙。当該センサーに定格電圧以上の電圧がかかっていた。
- 2009.6.8 定期検査中。タービン建屋に設置されているポンプの試運転準備で、仮設スイッチの電源を「入」にしたところ、電源盤から発煙。